

公益財団法人日本卓球協会
WASURENAI 3.11 チーム
担当理事 斎藤 一美
リーダー 阿久津しげ子

平成 28 年度活動報告

(1) 「WASURENAI 3.11」

震災復興支援のスローガンとして掲げてきた「WASURENAI 3.11」。

本年度も継続的に全国大会会場にて横断幕を掲出し、日本代表選手はこのロゴを競技ウエアに付け、復興の願いを込めて世界選手権大会並びに国際大会に出場した。

(2) 復興に向けた支援金

①平成 25 年度～29 年度の 5 年間[平成 28 年度から 2 年間延長]、復興 4 県（岩手、宮城、福島、茨城）を除く、43 都道府県登録会員にご協力をお願いした「震災復興支援金」(1 月 31 日現在分)
4,600,110 円

②日本リーグ大会募金、全国ラージボール大会・全日本実業団選手権大会会場募金、
“卓球の日” 日本卓球（株）主催大会会場募金 (1 月 31 日現在分)
230,179 円

以上 1 月 31 日現在、合計 4,830,289 円が寄せられた。

岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会には各 956,000 円 の支援金額分配を行った。

残金は今後新たに寄せられた額と合算した上で分配を行う。

（茨城県卓球連盟からは、ご辞退のお申し出があった）

(3) その他支援

平成 28 年度～29 年度の 2 年間、本会全国大会の主管地に、大会運営上負担にならない範囲で震災復興支援募金箱の設置をお願いした。

(4) 今後の取り組み

震災から今年で丸 6 年を迎える。各復興県に沿った復興支援サポートに努めた協会事業を進める。

以上